
シンポジウム

メコン地域におけるビジネス環境

日 時 平成30年8月9日(木) 14:00~17:00

場 所 ラオス国立大学(ラオス・ビエンチャン)

共 催 ラオス国立大学経済経営学部

【挨拶・趣旨説明】

小林 守(専修大学商学部教授)

(専修大学社会知性開発研究センター/アジア産業研究センター代表)

【講演】

Research presentation on Business Environment in Mekong region

小林 守

Piya Wongpit(ラオス国立大学講師)

【パネルディスカッション】

「Discussion about current situation of Managerial & Financial Accounting in Laos」

伊藤 和憲(専修大学商学部教授)

国田 清志(専修大学商学部教授)

菱山 淳(専修大学商学部教授)

石原 裕也(専修大学商学部教授)

谷守 正行(専修大学商学部准教授)

山崎 秀彦(専修大学経営学部教授)

岩田 弘尚(専修大学経営学部教授)

Phouphanthong Simpraseuth(Lao Brewery Co., Ltd)

Keovisouk Dalasane(108.jobs Company)

Kongpasa Sengsourivong(EBIT Consultancy Co., Ltd)

Thongpheth Chanthanivong(ラオス国立大学経済経営学部副学部長)

Xayarath Khongsavang(ラオス国立大学専任講師, 専修大学社会知性開発研究センター/アジア産業研究センター客員研究員)

【閉会の挨拶】

Xayarath Khongsavang

【司会・進行】

内野 明（専修大学商学部教授）

（専修大学社会知性開発研究センター／アジア産業研究センター研究員）

社会知性開発研究センター／アジア産業研究センター（研究代表＝小林守商学部教授）はラオス国立大学経済経営学部と共催で国際シンポジウムを8月9日、ラオスのビエンチャンで行った。テーマは「メコン地域におけるビジネス環境」。ラオス国立大学経済経営学部の Xayarath Khongsavang 講師の総合コーディネートにより、同大学の教員・学生のほか、ラオスの企業経営者、ラオス訪問中の香港城市大学の教員・学生等を含めた約70人の聴衆を前に関連の研究結果などが報告された。

同シンポジウムは2部構成で実施され、第1部は内野明商学部教授の司会のもと、メコン地域のビジネス開発の潜在性を小林守教授とラオス国立大学経済経営学部の Piya Wongpit 講師がそれぞれ、国際サプライチェーン（供給網）と周辺国とのビジネス環境競争力比較の視点から報告を行った。また、第2部は本学会計学研究所の協力を得て、ラオスと日本の会計制度・教育の比較に関するパネルディスカッションが行われた。

パネルディスカッションでは会計学研究所の伊藤和憲教授（司会）、菱山淳教授、国田清志教授、石原裕也教授、谷守正行准教授（以上、商学部）、山崎秀彦教授、岩田弘尚教授（以上、経営学部）が、ラオス側からはラオス最大手飲料メーカーである Lao Brewery Co., Ltd をはじめとして IT コンサルタント企業、人材派遣会社の経営幹部ら4人がパネラーとして参加し、両国の会計制度・教育の相違と問題点を掘り下げて議論した。

本国際シンポジウムは岩尾詠一郎商学部教授（アジア産業研究センター事務局長）と小林守教授が本年度初頭からラオス側と準備を行ってきた。今後、会計制度・教育問題に関してはラオス国立大学のみならず、ラオスの商工会議所、ラオス財務省、教育・スポーツ省とも連携しながら関連調査プロジェクトの推進を図ることになった。